

# 匠の街春日部かわら版

発行 榊コーワ  
編集 共栄大学発ベンチャー  
榊かひひやごっこ  
編集長 榊本有美

## 「春日部食堂祭」-36- 匠サローネ 代表 伊藤 素樹 様



代表 伊藤 素樹さんと素敵な店員さん

「匠サローネ」は、「コーヒーショップチエーン・モトヤエクスプレス」との提携により、今年の2月22日に匠大塚春日部本店1階にオープンしました。  
店内の椅子やテーブルは匠大塚の上質な家具を使用しており、約230平米の広々とした空間に約60席あります。  
モトヤエクスプレスは、映画やテレビCMといった大規模撮影時のケータリングサービスも数多く行っています。映画・テレビ関係者、出演者などにも多くのファンを持つプレミアムブランドです。1996年秋、移動喫茶モトヤエクスプレス1号店は路上営業からスタートしました。現在、都内を中心に6つの直営店があり、その中で店舗販売を行っているのは、川崎の「モトヤエクスプレス・フォ

伊藤さんのオリジナルドリッブ「コーヒー」ますらお(深煎り)と「たおやめ(浅煎り)」をいただきます。厳選したエチオピア、ブラジル、コロンビアの3種の豆をセレクトし、焙煎からドリッブの全行程において独自の手法をとっているため、雑味のない最後の一滴まで美味しい「コーヒー」を味わうことができます。  
読者特典として、本紙を匠サロー



ルテと春日部にある「匠サローネ」だけです。  
世界で開催されるクラシックカーラリーの最高峰として高い人気を誇る「ラフェスタミッドリミア」その名だたるサポーターズポイントサーの中にモトヤエクスプレスも名を連ねています。  
伊藤さんは「世界各国の著名人や経営者の方たちが長蛇の列を作り、私の「コーヒー」を美味しいとおっしゃってくださるのがとても嬉しかったです。」とお話してくださいました。

**匠サローネ**  
春日部市粕壁東2-5-1(匠大塚 春日部本店1F)

OPEN 10:30 CLOSE 20:00(ラストオーダー-19:30)  
TEL 048-812-7837 毎週火曜日定休日(祝日は除く)

ぜひ、この機会に匠サローネで美味しい「コーヒー」やお食事と洗練された家具とのコラボレーションを堪能してみたいかがでしょうか。  
(有)かいしゃ(こ) 有美



ネにお持ちいただく一番人気のお食事メニュー「汁五菜膳」通常1,200円が本紙1枚につき2名様まで980円で召し上げられます。(品切れの場合は、他のメニューの割引となります。)

近年、人気の歴史学者磯田道史氏(国際日本文化研究センター准教授)の著作、「龍馬史」(文春文庫)には諸説が詳しく解説されているが、同書では襲撃犯は京都見廻組で背後の黒幕は会津藩主松平容保であると結論づけている。その根拠として挙げられているのが、旧会津藩士手代木直右衛門(てしろぎ・すけえもん、一八一六〜一九〇四)が死の直前に親族に言い残した証言である。その内容は親族によつて私家版「手代木直右衛門伝」にまとめられ、今に伝わっているが、「坂本龍馬を殺害したのは佐々木只三郎(京都見廻組頭)であり、それは某諸侯の命令であった」というものである。佐々木只三郎は手代木の実弟で龍

馬襲撃犯のリーダーであり、また磯田氏は、某諸侯とは手代木の主人、会津藩主松平容保である可能性が高いと指摘している。手代木の証言だけで龍馬暗殺犯を確定することは困難であるが、当時の政治状況から考えると磯田説が妥当であると思われる。  
手代木直右衛門は、京都守護職松平容保の公用人として朝廷、幕府、諸藩間の連絡調整の任に当たり、枢機に参画した人物である。磯田氏の言葉を借りれば、「混乱を極める京都政局の最前線に立ち、実質的に会津藩の京都での活動を取り仕切っていた人物」ということになる。新撰組を差配して京都の治安維持に努めた人物であり、極めて重要な役割を演じていた。  
戊辰戦争では、会津若松城に籠城し若年寄(家老)に次ぐ職に昇進したが、敗勢が濃くなるに脱出して米沢藩に赴き、降服の仲介を依頼した。この結果、会津の戦いは



「歴史を歩く」第六十三話  
死の床で龍馬暗殺を証言した  
手代木 直右衛門  
なかでも興味のある筆頭は、今なお犯人捜しが続く「坂本龍馬暗殺の真犯人」ではないだろうか。龍馬暗殺の下手人には、①京都見廻組を筆頭に、②新撰組、③紀州藩、④土佐藩、⑤薩摩藩など多くの説があり、それぞれにもっともらしい理由が付いている。  
近年、人気の歴史学者磯田道史氏(国際日本文化研究センター准教授)の著作、「龍馬史」(文春文庫)には諸説が詳しく解説されているが、同書では襲撃犯は京都見廻組で背後の黒幕は会津藩主松平容保であると結論づけている。その根拠として挙げられているのが、旧会津藩士手代木直右衛門(てしろぎ・すけえもん、一八一六〜一九〇四)が死の直前に親族に言い残した証言である。その内容は親族によつて私家版「手代木直右衛門伝」にまとめられ、今に伝わっているが、「坂本龍馬を殺害したのは佐々木只三郎(京都見廻組頭)であり、それは某諸侯の命令であった」というものである。佐々木只三郎は手代木の実弟で龍

手代木は、明治五(一八七二)年に赦免された後、新政府に出仕して香川県や高知県の権参事(副知事)や岡山区長を勤め、明治三七(一九〇四)年、岡山市で七八年の生涯を閉じた。  
[筆者紹介]  
内藤徹雄。一九四四年生まれ。元共栄大学副学長。都市銀行で国際金融に携わり、シントウのマネジストを経て、大学教授に転身。専門は国際経済・金融。中学以来、「趣味は歴史」で、現在も歴史探訪を続ける。



馬襲撃犯のリーダーであり、また磯田氏は、某諸侯とは手代木の主人、会津藩主松平容保である可能性が高いと指摘している。手代木の証言だけで龍馬暗殺犯を確定することは困難であるが、当時の政治状況から考えると磯田説が妥当であると思われる。  
手代木直右衛門は、京都守護職松平容保の公用人として朝廷、幕府、諸藩間の連絡調整の任に当たり、枢機に参画した人物である。磯田氏の言葉を借りれば、「混乱を極める京都政局の最前線に立ち、実質的に会津藩の京都での活動を取り仕切っていた人物」ということになる。新撰組を差配して京都の治安維持に努めた人物であり、極めて重要な役割を演じていた。  
戊辰戦争では、会津若松城に籠城し若年寄(家老)に次ぐ職に昇進したが、敗勢が濃くなるに脱出して米沢藩に赴き、降服の仲介を依頼した。この結果、会津の戦いは



「匠キッズ」  
アントレプレナーシップの街春日部に「起業家教育のキッズワークショップ」として「匠キッズ」を共栄大学かいいしゃ(こ)本部でスタート。共栄大学発ベンチャー有有限会社かいいしゃ(こ)の起業家養成ノウハウ「モノづくり、ことづくり、ひとづくり」をキッズに伝えます。今年で3年目となる「キッズスクール」の上級コースが対象。  
★アドバイザータを駆使  
★レーザーカットデザイン  
★春日部の桐材活用グッズ  
今回は、「桐の時計文字盤お絵描きキット」を作成。「匠の街春日部まつり」や「羽根つきJAPANESE」で販売。その場でキット作りも指導します。キッズ製作ですがプロ並みをモットーのワークショップです。  
(有)かいしゃ(こ) 海老原

起業家教育ワークショップ  
「匠キッズ」  
アントレプレナーシップの街春日部に「起業家教育のキッズワークショップ」として「匠キッズ」を共栄大学かいいしゃ(こ)本部でスタート。共栄大学発ベンチャー有有限会社かいいしゃ(こ)の起業家養成ノウハウ「モノづくり、ことづくり、ひとづくり」をキッズに伝えます。今年で3年目となる「キッズスクール」の上級コースが対象。  
★アドバイザータを駆使  
★レーザーカットデザイン  
★春日部の桐材活用グッズ  
今回は、「桐の時計文字盤お絵描きキット」を作成。「匠の街春日部まつり」や「羽根つきJAPANESE」で販売。その場でキット作りも指導します。キッズ製作ですがプロ並みをモットーのワークショップです。  
(有)かいしゃ(こ) 海老原